

ユースタイルかわら版

2022
vol.2

ユースタイルラボラトリー株式会社の最新情報や社員が活躍している様子をお届けします！

社長からのお手紙



皆さんお疲れ様です。大畑です。

今回youtubeの方ではコミュニケーションについて話しました。コミュニケーションについて考えるきっかけになればいいなと思いますので是非見てください。

この会社は多くのスタッフが働いていますし、また仕事内容も感情労働の部分が多くコミュニケーションの優劣で仕事の充実度が変わってきます。離職につながるケースも見てきました。私たちは人間なのでどうしても好き嫌いは避けられませんが、テクニックや心構えで解決できることも多いし、少しでもいい社会人生活を送ってほしいと思います。

ところで会社は皆さんにできるだけ気持ちよく働いてほしいのでこういったコミュニケーションの動画を作ったりもするのですが、一方で裏側ではデータの取り組みもしています。皆さんご存じの通り私たちはヘルスケアテクノロジーを看板に掲げています。表に現れるシステムだけでなく、裏側ではビッグデータを用いて、仕事がうまくいく状況、うまくいかない状況、離職につながる状況等を分析しています。

というのも私たちは一人でも多くのスタッフに活躍してほしいし、仕事を通して充実した人生を送ってほしい。それが重なって大きくなって最終的に、一人でも多くの人に必要なケアを届けることになるからです。そのためには本当にできることを少しずつなんでもしていきたいし、そして皆さんにも後輩や同僚、そして非常勤さんに活躍できる環境を提供したりサポートしたりしてほしいなって思います。今日はここまで。大畑

社長動画企画

職場でのコミュニケーション①



訪問介護事業部のブロックマネージャー佐藤飛美さんと一緒に、部下とのコミュニケーションで大切にしたいことをテーマに話しています。動画では、コミュニケーションのコツから、相手と向き合うときに大切にほしい姿勢まで、事例を交えながら佐藤さんと話をしています。ぜひ皆さん動画をご覧ください。



▶ 動画はこちら

今回から毎回、ユースタイルかわら版で、訪問介護事業部 GM である中原さんに情報を発信していただきます。今回のテーマは「上半期の振り返りと下半期に向けて」です！よろしく願いいたします。

上半期の振り返り

訪問介護事業部 GM の
中原です！

2022 年の初めに全国展開を再始動することを決め、準備を進めてきました。皆様の頑張りのおかげで、5月に大阪府、兵庫県と福島県、6月には岐阜県と愛知県、そして7月には宮城県に事業所を開設することができました。

新規事業所では、チームで前向きに業務に取り組むことができるよう、入社研修に加えてケアに関することから、制度や営業等についてスタッフ間で共有してくれていると聞いています。

また、各役職ごとの研修の強化と改善を実施しています。6月からはサービスリーダー向けの研修が始まりました。今後はコーディネーター研修をより実用的なものに改善していきます。このようなひとつひとつの小さな積み重ねが、すべての人に必要なケアを届けることにつながっていきます。



下半期に向けて

下半期は、上半期に新しく始めたことをより確かにする期間です。新しいことを始めると不安がつきものかと思いますが、ユースタイルは皆さんの挑戦をバックアップする体制を整えています。スタッフの皆さんは、不安なことやわからないことがあれば、遠慮なく上司や同僚に相談してみてください。皆さんの下半期の頑張りに期待しています。





お仕事サポートブックを作成しました

従業員満足度（ES）を上げるプロジェクトの一環で、スタッフの皆さんに安心してお仕事ができるよう、「お仕事サポートブック」を作成しました。今回は、このプロジェクトリーダーの成澤さんにインタビューしました。



成澤雅志 / 西東京エリアマネージャー。2017年入社。前職では某コンビニで店長を6年間務める。将来のことを考え、介護の資格をユースタイルカレッジで取得したところ、スカウトされ今に至る。趣味は音楽。着メロの作成も昔、仕事としてやっていた。

Q.「お仕事サポートブック」について教えてください。

A. 現場で、迷いやすいポイントの一つにまとめた冊子です。緊急時の対応や、ヘルパーができること、できないこと、介護記録の記入等についてコンパクトにまとめています。エプロンのポケットに入れやすい冊子版と、データ版があります。

Q. なぜ「お仕事サポートブック」を作成したんですか？

A. スタッフが現場で利用者さんへの対応で困ってしまうことが、課題としてありました。そこで、ES向上チームでは解決策として、いつでも困った時に確認できる冊子を作成することにしました。私も、未経験で入社したため、皆さんが不安な気持ちになることがとてもよくわかります。現場に実際入った時の疑問点やこうなったらどうしよう、など不安を和らげることができたらなと思って、作りました。本当に困ってしまった時は、お仕事サポートブックにも掲載している、担当のCNとSMにいつでも電話してくださいね！

成澤さんの「スタッフみんなが困った時の助けになるように」というやさしい心がそのまま詰まったブックとなっていますので、ぜひご活用ください！



01 レポートラインについて

連絡はどこに、誰に行えばいいか？

- 日々の業務報告は、利用者様情報のグループLINEに報告します。
- 不安になったら？
コーディネーター（CN）に相談しましょう。
- CNに言いつらいことは？
サービスマネージャー（SM）に相談しましょう。

初めての現場のひとり立ち後も、気になる点はないか、希望通り働けているか等、担当CNよりフォローアップの連絡をしております。ひとり立ち後に気になった点など、遠慮せずご相談ください。

02 緊急時の対応について

- 通常は訪問看護の看護員に指示を仰ぎます。連絡の順番が異なる場合もありますので、初めて訪問した時に確認しましょう。
- あなたの担当 CN の連絡先と所属事務所を記入しましょう。

担当 CN	(事務所)
電話番号		
担当 CN	(事務所)
電話番号		

- あなたの担当 SM の連絡先と所属事務所を記入しましょう。

担当 SM	(事務所)
電話番号		

03 研修について

- 最初は先輩ヘルパーから業務を覚えてもらいながら、ケア内容を覚えていきます。
- 同行できる先輩ヘルパーが変更になる場合もありますので、研修がどこまで進んでいるのか、どこまで教えてあるのかを共有できるようにしたツールとして、研修チェックシートというものを導入しています。
- 現場では、この研修チェックシートに沿って進めていきます。

社内のあの人にインタビュー！

今回は、土屋訪問看護ステーション所長の椎名真希さんにインタビューしました！

訪問看護とは？

病気や障害を持った方が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしい療養生活が送れるように支援するサービスです。

訪問看護ステーションから、看護師や理学療法士・作業療法士等がその方が生活する場所へ訪問し、医療的ケアを提供します。



椎名真希／土屋訪問看護ステーション所長。祖父に「まきちゃんも看護師になれ」と言われたことがきっかけで、看護の道へ。病院等での勤務を経験後、IT系の事業をやっていることと、自由な社風にひかれ入社。



Q. 訪問看護の仕事はどのようなですか？

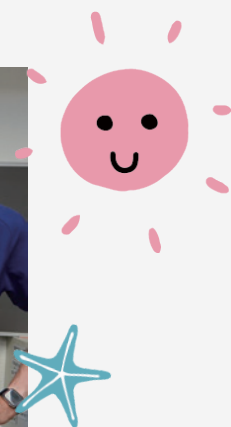
A. 訪問看護の看護師は、病院の看護師と比較してできることがたくさんあるので、楽しいです！私も、1日約3件～5件、患者さんの自宅に訪問しています。チームのメンバーは元気でポジティブな方が多いです。仕事のことはお互いになんでも言える関係を築いています。どっちがえらいとかもなく、私もみんなに成長させてもらってるし、みんなもみんなでも勉強できると思っています。

Q. 患者さんとのやり取りで印象的だったことはありますか？

A. とある患者さんのご家族で、当初すごく不安を持っている方がいました。日々の訪問中に患者さんご家族の不安を聞いて対処を決めていくうちに、ふと不安が取り除かれたなと感じる瞬間がありました。こんな時は、訪問看護の仕事をしていてよかったなと思います。

Q. 今後やってみたいことはありますか？

A. ケアマネジメントをもっとやってみたいです。各病院ともっと連携をとって、利用者さんを地域で支えたいと思っています。



社外ハラスメント相談ホットラインを設置しました

各種ハラスメントの相談窓口である相談ホットラインに、社外の専門家が直接、対応する窓口を新たに設けました。現在、本社に設置している社内の相談ホットラインも引き続き運用しておりますが、社外窓口も活用し、より良い就業環境を構築していきます。

運用開始日

2022年7月1日～

相談形式

ウェブにて内容を登録し、
登録以降は専門家と主にメールでやり取り

受付時間

ウェブ登録自体は24時間受け

登録はこちら

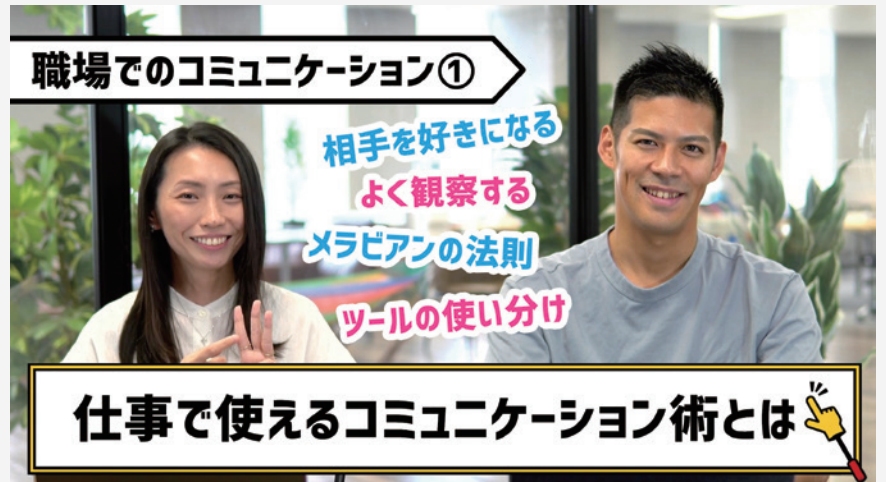


チャンネル名

大募集

社長動画企画のチャンネル名を募集しています。こんなチャンネル名がいい、などご意見等あれば、ぜひサイト下のフォームから送付をお願いします。たくさんのご意見、お待ちしております！

職場でのコミュニケーション①



information

ウェブサイト



リファラル採用



ご意見・感想等

